

平成 30 年度
北しりべし廃棄物処理広域連合温暖化対策推進実行計画
推進状況

1. 実行計画の削減目標

2013（平成25）年度を基準年度として、計画期間の最終年度である2030（令和12）年度の温室効果ガス総排出量を14%削減する。
（計画期間：2018（平成30）～2030（令和12）年度）

2. 平成30年度温室効果ガス排出量実績

表1. 温室効果ガス排出状況

温室効果ガス	調査項目	平成25年度 (トン-CO ₂)	平成30年度 (トン-CO ₂)	増減量 (トン-CO ₂)	増減率 (%)	
二酸化炭素	廃棄物焼却	19,997	17,856	▲ 2,141	▲ 10.7	
	燃料消費	灯油	1,053	196	▲ 857	▲ 81.4
		ガソリン	3.4	2.3	▲ 1.1	▲ 31.5
		軽油	40	37	▲ 3	▲ 7.8
	購入電力	389	347	▲ 41	▲ 10.7	
	売却電力	▲ 2,170	▲ 2,073	97	4.5	
	小計	19,312	16,366	▲ 2,947	▲ 15.3	
メタン	廃棄物焼却	1.0	0.9	▲ 0.1	▲ 10.7	
	自動車使用	0.0076	0.0067	▲ 0.0008	▲ 10.9	
	小計	1.0	0.9	▲ 0.1	▲ 10.7	
一酸化二窒素	廃棄物焼却	725	648	▲ 78	▲ 10.7	
	自動車使用	0.18	0.14	▲ 0.04	▲ 21.9	
	小計	725	648	▲ 78	▲ 10.7	
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコン	0.086	0.086	0	0.0	
	小計	0.086	0.086	0	0.0	
温室効果ガス排出量合計		20,039	17,014	▲ 3,025	▲ 15.1	

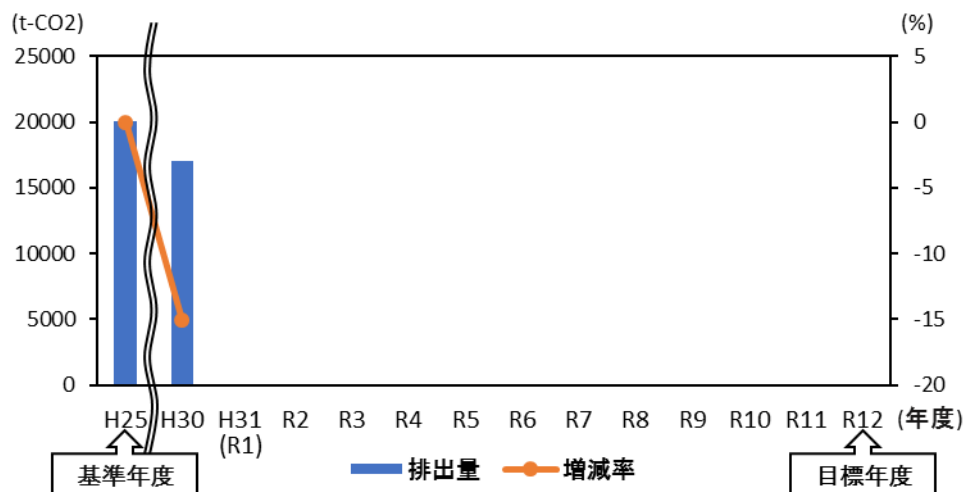


図1. 温室効果ガス総排出量の推移

3. 結果の評価

平成30年度における温室効果ガス総排出量は17,014トンで、基準年度の平成25年度と比較すると3,025トン減少し、増減率は15.1%減であった。調査項目別では、電力の売却に伴う二酸化炭素排出量は増加しているが、その他の項目では減少し、温室効果ガス総排出量は、目標年度に向けて順調に減少している。(表1及び図1)